

ともだち



人と人との出会いを大切に
笑顔の輪を広げましょう

高崎市国際交流協会会報第101号

2021.12

◆トピックス(2021年11月～2021年12月)

■協会30周年記念 多文化共生講演会

「アフリカ少年が日本で育った結果」

カメルーン出身の漫画家、星野ルネさんの講演が11月1日から14日まで配信され、750回再生されました。



星野さんは約1時間、異なる国籍、言葉、文化を持つ人々が同じ地域で共生していくために必要な視点や行動を、自身の経験を描いた漫画を使用しながら話しました。

★講演会について2,3ページに特集があります。(事務局)

■秋のオンライン日本語教室

9月7日から11月24日まで、ZOOMを使ったオンライン日本語教室が開催され、18人の日本語支援者が30人の日本語学習者の学びを手伝いました。

(コミュニケーション支援部会)

フィリピン	10	ミャンマー	1
中国	5	マレーシア	1
パキスタン	3	ジンバブエ	1
ベトナム	3	タイ	1
アメリカ	2	ロシア	1
ブラジル	2	合計	30

◆お知らせ(2022年1月～2022年2月)

■世界の学校あれこれ～オーストラリアの小学校編～

オーストラリアの小学校や小学生の生活について紹介します ●日時=令和4年1月7日(金曜日)午後7時～8時30分 ●場所=オンライン(ZOOM) ●対象=小学生(その他の方も聴講可) ●定員=20人(抽選) ●費用=無料(通信料は利用者負担) ●講師=ミーガン エイトケンヘッドさん(オーストラリア出身、市国際交流員)

●申込=1月5日(水曜日)までに右のQRコードから



■冬のオンライン日本語教室

生活に役立つ日本語、文化や習慣、生活のルールなどをオンラインで学べます。40分間の少人数によるグループプレッスンで、日本語能力に応じた指導が受けられます。学習をお手伝いするのはボランティアで、専門家ではありません。いずれのコースも計10回です。●対象=日本語を母語としない人 ●費用=無料(通信料は利用者負担) ●教材=指定のもの各自で購入 ●申込=開講日の1週間前までに電話で事務局へ(申し込みの状況により、お断りする場合があります)

コース名	時間	期間
月曜日コース	午後7時～7時40分	1月17日～3月28日
火曜日コース①	午前10時～10時40分	1月11日～3月15日
火曜日コース②	午後7時～7時40分	1月11日～3月15日
水曜日コース①	午前10時～10時40分	1月12日～3月23日
水曜日コース②	午後6時30分～7時10分	1月12日～3月23日
木曜日コース	午後7時～7時40分	1月13日～3月17日
土曜日コース①	午前10時～10時40分	1月15日～3月19日
土曜日コース②	午後1時30分～2時10分	1月15日～3月19日

11月16日に5部会の代表者によるオンライン座談会が開催され、活発な意見交換が行われました。



司会
 たるみ のりこ
樽見 周子さん
 (広報宣伝部会)



青少年育成部会・事務局 代表

ミーガン
 エイトケンヘッド
 さん



事業部会長
 まつもと あきら
松本 章さん



コミュニケーション
 支援部会長
 あらい つとむ
新井 努さん



都市友好部会長
 すずき ひろき
鈴木 宏輝さん



広報宣伝部会長
 ねしきわ のりこ
綿貫 典子さん

樽見さん: 心に残ったルネさんの言葉やエピソードは何でしょうか？

ミーガンさん: 文化というのは物ではなく人間だという言葉です。人間が今ある歴史を作ってきた。今コロナで大変ですが、後で振り返ると、教科書には今日本にいるみんなが作り上げてきた日本文化が残されるんだなと思いました。

松本さん: 地球儀を回してみたら違った見方ができるということです。どうしても人間は自分を中心に考えてしまって、他の人の考えを変なものともみてしまうけど、価値観であれ文化であれ非常に相対的なものなんだ。私は多国籍企業で働いていた時に、違いを受け入れると徹底的に言われました。一緒に働いている人の中に全然違う考え方や宗教があって、親しくなるとよく喧嘩になったりしたけれど、喧嘩を通じてお互いわかりあっていった。違いは相対的なもので絶対的なものではないんだと、ルネさんは教えてくれていると思いました。

新井さん: そうですね。違いがあることを知る。日本人の中にも違いがある。違いを持った人たちがどういふふうに住らしていけるのかをみんなが話し合うことが必要だと思いました。あとは、自分では食べられないと思うものが、実際食べてみると美味しいという食事のエピソードが印象に残りました。

鈴木さん: 私も食事のエピソードは印象に残りました。あとは「ルネはカメルーン人なのか日本人なのか」と

いう質問をされたということが印象的でした。スポーツ選手の日本国籍選択とかニュースに出ていましたけど、そういうのは本当にどういう意味があるのかなと思いましたね。

綿貫さん: 私は「学校のおかしなルール」というところです。常識とか当たり前とかルールというのは、地域や場所、時代によって違う。そして、それらが生まれ広がったそれぞれの理由があるという言葉がとても印象に残りました。お腹が空くと集中できないから、甘い物食べても OK という帰国子女の方の話がちよっと目から鱗でした。

樽見さん: 私は、一番おもしろかったのは「ざっくり」という言葉でした。ざっくりアフリカの方、ざっくり南米の方、知らないからざっくりまとめるといのは失礼で、一つ一つを認めなくちゃいけないなと思いました。そして違いを知ることはとても大切だなと思いました。

違いを受け入れて理解し合うこと

新井さん: 違いを知らないと理解も進まないの、大事だなと思います。

松本さん: そうですね。違いを知った上で受け入れる。それが自然とできるようになるのが一番いいですね。

鈴木さん: みんな違ってみんないい。個性を認めて受け入れるのがやはり大切だと思います。

ミーガンさん: 松本さんもおっしゃっていましたが、お互いのことを知る過程でぶつかり合うこともある。話し

づらいことでもちゃんと話し合っ、聞き入れて確認する。確認しながらお互いを理解し合っていくことができると思うんです。

綿貫さん: やっぱり価値観って人それぞれで、その違いを認めて…。広い視野で見たら最終的に求めていることは一つだったりするので、視野を広くし、俯瞰して考える事も大事だなと思いました。

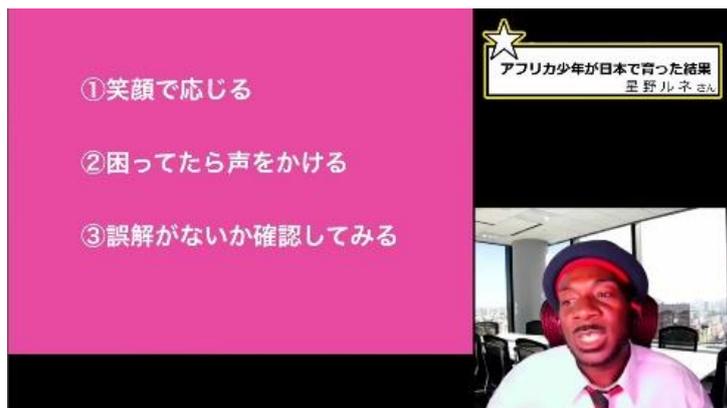
協会の活動＝継続して深める

樽見さん: ありがとうございます。心に残ったルネさんの言葉やエピソードを踏まえて、今後の国際交流協会の活動にどう活かしていけばよいと思いますか？

鈴木さん: センザンコウを食べる。「えー!?びっくり!」というような、そういうきっかけを作るのは必要なと思います。一方で知識を広める活動も必要なと思いますが、やっぱり今までやってきたイベントを膨らませて掘り下げていくというのがベースだと思います。

新井さん: 同じですね。新たに何かやるというよりは、何かを深く掘り下げて継続してやっていくことが大事だと思います。日本語教室でいえば、一人一人にあわせて、よく観察して、キャッチして、掘り下げていくということですかね。

松本さん: 事業部会では多文化スピーチをやっているんですけど、本当に言いたいことを言い合えるスピーチ及びディスカッションにしたいです



よね。継続してもっと深めていくことが大事だと思います。

綿貫さん: 国際交流に関してのベースはわかっているつもりでも、今回の講演を聞いてわかってないことがたくさんあったと気づかされました。いつの間にか視野が狭くなっている。だからいろんな活動をして、みなさんの視野を広げてもらう。もちろん広報としても色々な特集をやっていたらよいなと思っています。あとは、子どもたちへの啓蒙活動はすごく大切だなと思いました。

樽見さん: 青少年育成部会のミーガンさんどうですか？

ミーガンさん: 活動の中で気を付けていきたいことが1つあるんですよ。それは、どの人間にも違いはあって、そればかり見極めているとギャップを感じて、なかなか理解することができない。違いは意識してもよいが、同じというのも理解してもらうのも大事だなと思います。

樽見さん: その同じというのは何ですか？

ミーガンさん: ルネさんの話にもあったように、結局人間というのは群れを作る動物ですから、自分と同じものを持っている人を探すことが特徴的で、自分と同じような背景で、気が合う人と交流したい。だから青少年育成部会では、高崎の子どもが外国にいる子どもとオンラインで交流できたらよいなと思っています。また、どこかの国の子どもは学校へ行けないとか、水を頭にのせて何キロも歩かないと水が飲めないとか、そういう講演を聞いて、あー日本人で

よかったなと思う。でも反対から見れば、日本の子どもは朝から晩まで塾に行ったり、受験勉強したり、すごく大変だなと思われるかもしれない。お互い良い事ばかりじゃないと知ること大事かなと思います。

70億分の1ピースの地球人

樽見さん: 最後に一言ずつお願いします。

ミーガンさん: 今、日本に住んでいて、仕事もしていて、子育てしている外国の方がたくさんいる。ルネさんの話にもありましたが、文化というのは人間が作るもの。文化が作られるためには、平和であって、お互い言い合える雰囲気が必要だと思う。なるべく多くの日本人に今回のような話し合いの機会を作ること。そして外国人住民には自分は言う権利を持っている、自分はこの日本の文化に関与できるような要素があるんだという自信がつくような活動をしていきたいなと思いました。

鈴木さん: ルネさんにとってお父さんの存在が大きかったなと思いました。最も身近なコミュニティですよ、親子は。だから親子で参加できるイベントというのは、多文化共生に役に立つのではと思いました。

松本さん: 最後に思ったのは、ルネさん、カメルーンから日本という極端な国に来たなと。日本だからこそ違いが際立ったなと思いました。アメリカやヨーロッパだったら本は出せなかったと思う。そして果たして多文化共生という点で日本というのはどん

な国なんだと。日本人は本当に多文化共生に関して土壌を持っているのだろうか、真剣に考えてみたいもしています。

綿貫さん: 絶望の材料が固定観念と狭い視野であるならば、希望の材料は柔軟な考えと広い視野だとルネさんが言っていました。私たちには思考の癖があると思うんですね。日本人はこうだからこうみたい。でもそれは後天的に本を読んだり、いろんな人と触れ合ったりして柔らかくなっていくと思う。国際交流がそういう門を広げていろんな事を教えてくれるってということじゃないかなと思っています。理想的には70億ピースのうちの1つなんだよ、自分たちは地球人なんだよってなればベストだなと思いました。

新井さん: 私たちは協会の活動の中で、多様性だとか多文化共生だとか日頃から意識しているけれど、そうではない人もいると思うので、今回の講演がそういう人たちにとって、多文化共生について考えるきっかけになってくれればよいなと思いました。あと綿貫さんもおっしゃっていましたが、地球人なんだよという意識が持てればよいなと思いました。

樽見さん: ルネさんが最後のまとめに「笑顔で応じる」「困っていたら声をかける」「誤解がないか確認する」とおっしゃっていましたが、相手が日本人であれ外国人であれ、コミュニケーションを楽しくとって、助け合えるところは助け合い、そして言っていることがちゃんと通じているか確認するのが大事なんだなと思いました。今日はありがとうございました。

◆ウィズコロナの過ごし方

新型コロナウイルス感染症により、会員同士が顔を合わせられないので、「ウィズコロナの過ごし方」を紙面で共有します。

みんなでひきこもりましたか いいえ！ちいさな一歩をふみ出しました

佐藤 真喜子

まさか、まさかのパンデミックが現実！一斉休校、施設の閉鎖、リモートワーク、そしてオリンピックの延期。そんな中でも働く親のために私たちは、『中河原こども園』や『新町第二小学校学童保育所』を開いてきました。開くにあたり、消毒液、マスク、遊び場所、相互扶助の精神で自然と助け合い、連携の速さは目を見張るほどでした。日本中がマスク不足の時には、親交のある中国山東省から驚異的な早さで支援のマスクが届きとても感謝しました。

学校が再開されると、地域の多数のボランティアが登下校の見守りに参加してくれました。久しぶりの登校で戸惑う不安な子供達を、ソーシャルディスタンスをとり、マスクをしながら笑顔で励まし見守りを行いました。

2020年公演予定で一年間練習を重ねてきた、私たちの

ミュージカル『おにころ』も中止となりました。しかし私たちは2021年の公演を目指し、ソーシャルディスタンスを保つ為のライン引きや消毒の徹底、



そしてマスクを着用し練習を再開しました。演出の方々は、感染防止を最優先させるために出演者の位置を広くとる舞台作りで戸惑っていました。子役達は当初不安な表情をしていましたが、ソーシャルディスタンスの必要性を繰り返し教えて不安の解消に努めました。感染防止策を行い、無理せず練習に参加して頂き、2021年7月に無事公演を終了することができました。

感染拡大防止のためには心の中の一歩、実際の小さな一歩が大事だと思いました。何の屈託もなく笑い話せる日が一日も早く来ることを願っています。

ラジオ
たかさき
高崎

たかさき
マイタウン高崎

ほうそうにちじ
【放送日時】

だい きんようび ごぜん
第1・3金曜日 午前9時15分～9時25分
さいほうそう
再放送 午後0時30分～0時40分



ほうそうよてい
【放送予定】

12月3日 ともだち100号
12月17日 子ども日本語学習支援
1月7日 冬の日本語教室
1月21日 多文化共生講演会



※放送日時や内容が変わることがあります

がいこくご
外国人
生活相談

せいかつそうだん
生活相談ができます

たいおうげんご そうだんび
【対応言語と相談日】

えいご げつようび きんようび ごぜん
英語: 月曜日～金曜日 午前8時30分～午後4時30分
ポルトガル語と中国語: 月曜日と木曜日 午後1時～5時
ベトナム語: 金曜日 午前8時30分～午後0時30分

【場所】高崎市役所2階 国際交流コーナー

※電話でも相談できます

Consultation / 相談 / Consultas / Tư vấn

English: Monday - Friday, 8:30am - 4:30pm

中国語: 星期一和星期四、下午1時～5時

Português: Segunda e quinta das 13:00 às 17:00hs.

Tiếng Việt: Thứ sáu 8:30 ~ 12:30 sáng



◆◆◆令和3年度会費を受け付けています◆◆◆

かいひ こじん えん だんたい ほうじん えん
●会費＝個人2,000円 団体・法人10,000円

よくねん わんかんゆうこう
(4月～翌年3月の1年間有効)

いこう しん きにゆうかい はんがく
※10月以降の新規入会は半額

のうにゆうほうほう しむきよくまどぐち ゆうびんふりこみ
●納入方法＝事務局窓口もしくは郵便振込

くわ ほうほう しむきよくと あ
詳しい方法は事務局へお問い合わせください

ともだち

はっこう たかさき し こくさいこうりゅうきょうかい
発行 高崎市国際交流協会

たかさき し たかまつちよう
〒370-8501 高崎市高松町35-1

TEL 027-321-1201

FAX 027-330-1819

MAIL office@takasaki-irs.org

HP http://www.glocalfive.net/tirs

はっこうび れいわ ねん わん
発行日 令和3年(2021年)12月